

プロジェクトリーダー：瀬戸市役所学校教育課

事業実績調書

(1) プロジェクト名	瀬戸市内小中学校教育現場支援プロジェクト
(2) プロジェクトの成果（※そのような成果が得られたかについて具体的に記載）	
<p>【発達障害支援（巡回相談）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7名の大学教員による巡回相談を7小学校、4中学校で計16回実施した。各小中学校では、発達障害のある児童生徒が増加傾向にあり、学校現場では対応に苦慮している。臨床経験の豊富な大学教員が児童生徒の観察をし、小中学校教員の支援方法について助言することで、新たな視点で支援を見直すことができ、大きな効果があった。 <p>【発達支援研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中特別支援学校教員対象の大学教員による研修会を3回行った。夏季休業中に実施することで、多くの小中特支教員が参加することができた。臨床経験が豊富な大学教員から、事例を基にした講義を現状に照らし合わせて聞くことで、2学期からの学校現場における児童生徒への支援に役立てることができた。 <p>【理科学習（小学校における理科実験）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験豊富な大学教員が小学校に出向いて理科実験を行うことで、小学校教員が理科実験の方法や提示の仕方を知ることができた。子どもを引きつけるような実験をしてもらうことで、子どもたちの理科への興味・関心を高めることができた。 	
(3) プロジェクト実施内容（※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載）	
<p>6月5日（月）</p> <p>6月21日（水）</p> <p>6月27日（火）</p> <p>6月28日（水）</p> <p>7月3日（月）</p> <p>7月4日（火）</p> <p>7月5日（水）</p> <p>7月10日（月）</p> <p>10月16日（月）</p> <p>10月20日（金）</p> <p>10月24日（火）</p> <p>10月31日（火）</p> <p>11月7日（火）</p> <p>11月30日（木）</p> <p>12月6日（火）</p> <p>12月13日（水）</p>	<p>【発達障害支援（巡回相談）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祖東中学校で実施（金城学院大学 今村友木子先生） ・東山小学校で実施（南山大学 早川徳香先生） ・品野台小学校で実施（金城学院大学 二村彩先生） ・深川小学校で実施（金城学院大学 加藤大樹先生） ・南山中学校で実施（名古屋産業大学 松瀬留美子先生） ・幡山中学校で実施（名古屋産業大学 松瀬留美子先生） ・西陵小学校で実施（名古屋学院大学 廣藤稚子先生） ・陶原小学校で実施（金城学院大学 川瀬正裕先生） ・道泉小学校で実施（金城学院大学 川瀬正裕先生） ・品野台小学校で実施（金城学院大学 二村彩先生） ・深川小学校で実施（金城学院大学 加藤大樹先生） ・八幡小学校で実施（名古屋産業大学 松瀬留美子先生） ・東山小学校で実施（南山大学 早川徳香先生） ・本山中学校で実施（名古屋産業大学 松瀬留美子先生） ・陶原小学校で実施（金城学院大学 川瀬正裕先生） ・西陵小学校で実施（名古屋学院大学 廣藤稚子先生）

<p>8月22日 (火)</p> <p>8月25日 (金)</p> <p>8月29日 (火)</p> <p>7月11日(火)・ 12日(水)・14日(金)</p> <p>7月14日 (金)</p> <p>12月1日 (金)</p> <p>12月19日 (火)</p> <p>12月21日 (木)</p> <p>2月6日 (火)・ 8日(木)・9日(金)</p> <p>2月22日 (木)</p>	<p>【発達支援研修会】</p> <p>「学校現場で生かせる発達支援」～『良い対応』と『悪い対応』～ (名古屋学院大学 廣藤稚子先生)</p> <p>「保護者とのかかわりと家庭支援」 (金城学院大学 川瀬正裕先生)</p> <p>「ASDの特徴を持つ児童生徒と不登校」～中学校の事例からの検討～ (名古屋産業大学 松瀬留美子先生)</p> <p>【理科学習 (小学校における理科実験)】</p> <p>・幡山西小学校で実施 (5年生96人 90分1コマ×3学級)</p> <p>・原山小学校で実施 (6年生58名 90分1コマ) (名古屋産業大学 岡村聖先生)</p> <p>・東明小学校で実施 (5・6年生22名 90分1コマ) (名古屋産業大学 岡村聖先生)</p> <p>・道泉小学校で実施 (6年生43人 90分1コマ) (愛知工業大学 佐伯平二先生)</p> <p>・深川小学校で実施 (3～6年生40人 90分1コマ) (愛知工業大学 佐伯平二先生)</p> <p>・幡山西小学校で実施 (5年生96人 90分1コマ×3学級) (愛知工業大学 佐伯平二先生)</p> <p>・八幡小学校で実施 (6年生44人 90分1コマ×2学級) (愛知工業大学 佐伯平二先生)</p>
<p>(4) プロジェクトの今後の課題と展望</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・大学教員との連絡調整については、大学事務局を介さなくてもよくなったことで、やりとりがしやすくなった。 ・学校現場では、児童生徒や保護者の多様化に伴い、指導・支援方法に苦慮する状況がある。臨床経験が豊富な大学教員が、実際に教育現場に出向いて指導したり、助言したりすることにより、現場では見いだせなかった観点で支援・指導方法を考えたり、新しい考え方を知ったりすることができる。近隣大学との協働という観点からも、大きな意味がある。 ・今年度の採択は、申請した金額から大幅な減額となってしまった。できるだけ多くの教員や児童生徒が大学教員からの専門的な指導・支援を受けられるよう、採択金額の保障を望む。 	